

## 総合学習と心の教育

全国個性化教育連盟 会長 染田屋謙相

1950年代から60年代にかけて、ソニーの創立者の一人で、永く社長の座についていた井深大（いふかまさる）氏は、幼児教育や心の教育についての名著を出され、ベストセラーとなって多くの人々に読まれた。

その中の一つに「あと半分の教育」という本がある。「あと半分の教育」とは「心の教育」のことである。この本の中で著者は、日本の教育に警鐘を打ち鳴らし、その改革を求めている今になって思い当たることが多い。

その中から一つあげてみよう。草野操氏（日産化工社長・教育問題国民会議委員）の主張である。「現代の教育には、何か基本的なものが欠けているように思います。一人ひとりの子どもよい点をみつけて、気長に伸ばしてやるためには、知育偏重でなく、「心の問題」を考える必要があると思います。国会論議でおもしろい問答がありました。

「総理、雪が消えたら、なにになるとお思いますか。」「水になる。」「雪が消えたら春になるのです。」

知識の詰め込みみだけでは、春になるという答えは出ません。」

このエピソードは有名になったが、総合学習のねらいともいえる。「生きていくための知識」を考える上でも重要なことではないだろうか。

井深氏も、草野氏の主張について「このエピソードは、いわゆる専門家の知識と、これからの時代に求められる人間的な知恵との違いを考える上で、まことに興味深いものだと思います。」と述べている。

詰め込み教育と心の教育の軽視は、最近になって学校教育の根底をゆるがすような事件となってあらわれてきた。兵庫県の子供連続殺傷事件から始まり、栃木県黒磯市の中学校における前代未聞のナイフによる教師殺害とナイフによる殺傷事件が続発した。また、小・中学校では

「荒れる学級」、「学級崩壊」の傾向が激しくなり、授業ができない学級もあるという。いささか泥縄的ではあるが、文部大臣も中教審に諮問をして、「幼児期からの心の教育に関する小委員会」中間報告座長試案なるものが公表された。

このような状況は、国民の学校教育に対する不信の念をいっそう強めたようである。

1998年4月に行われた読売新聞の世論調査によると、今の学校教育に不満を表明している国民は74%に達し、満足していると答えた者の20%を大きく上回っている。さらに不満の内容として、教師の質44.2%、詰め込み教育42.5%、いじめ44.7%、校内暴力42.3%、道徳教育37.5%、情操教育21.7%等があげられている。

また、「文部省の教育改革で積極的に進めるべきものは何か」という質問に対して、「ボランティアや自然体験など総合的学習の設置」が57.9%と他を圧倒して、第1位になっていることは、注目に値する。

中教審の第1次・第2次答申では「生きる力」と「ゆとり」がキーワードとなっている。そして、「生きる力」を全人的な力と考え、横断的・統合的な学習を進めようとしている。

国際理解、情報、環境、ボランティア、自然体験等の領域で、「自分で課題をみつけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を身につけるとともに、自ら律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を養う必要がある。そのためにも健康と強靱な体力が大切である。」

このような観点から、総合学習が単なる活動や経験にとどまることなく、生きていくための「知恵」を身につけるようになることを期待してやまない。

# 新理事決まる

平成10年度の理事を、平成9年度に引き継ぎまして下記の方々にお引き受けいただくことになりました。よろしくお願ひいたします。なお、交代を予定されている等の新理事の方々につきましては、確認の遅れなどで、お名前が載っていない場合があります。ご了承下さい。  
(平成10年4月 現在) (○印は常任理事)

- 会 長 染田屋謙相 (東京・元板橋区教育長)  
副会長 加藤幸次 (東京・上智大学教授)  
" 永地正直 (山口・生涯学習研究所主宰)  
理 事 岩崎誠一 (教育環境施設取締役会長)  
" 佐藤 有 (北海道教育大学文部教官)  
" 五十嵐庸 (福島・常葉小学校長)  
" 齊藤健一 (福島・飯野町教育長)  
" 武藤義男 (福島・前三春町教育長)  
" ○徳永隆憲 (千葉・読書の学校代表)  
" ○浅沼 茂 (東京・東京学芸大助教授)  
" ○久保田滋 (東京・芦屋大教育学部)  
" ○志茂暁子 (東京・目黒緑が丘小学校長)  
" ○高浦勝義 (国立教育研究所室長)  
" ○小堀常子 (町田市立金井小学校長)  
" ○永井タケ子 (町田市南第三小学校教頭)  
" ○奈須正裕 (国立教育研究所)  
" 平野朝久 (東京学芸大学助教授)  
" 青木昭平 (新潟・黒崎町教委教育長)  
" 松原雅子 (富山・入善町上青小教頭)  
" 神代醇一 (静岡・島田市第一中学校長)  
" ○石坂和夫 (岐阜・聖徳学園大学教授)  
" 松下晴彦 (愛知・相山女学園大助教授)  
" 鈴木正幸 (神戸大学発達科学部教授)  
" 山本欽三 (兵庫・神戸市樫野台小学校長)

## ……東海個性化教育研究会……

- 理 事 新美一成 (顧問前東海個研会長)  
" ○戸田州一 (会 長 東浦町教育長)  
" ○山田一雄 (副会長 島田市教育長)  
" ○松永弘之 ( " 池田小学校長)  
" 青木克夫 (愛知・稲武町教育長)  
" 夏目忠士 (愛知・稲武小学校長)  
" 松田 宏 (静岡・初倉小学校長)  
" 安藤悦男 (静岡・六合小学校)  
" 伊藤育子 (静岡・初倉南小学校)  
" 白木紀一 (三重・鈴鹿市立鈴西小学校長)  
" 長坂一興 (愛知・北部中校長)  
" 榊原 勝 (愛知・卯ノ里小学校長)

- " 魚住忠久 (愛知教育大学教授)  
" 横山藤二 (監査 森岡小学校)  
" 関 道明 (監査 緒川小教頭)  
" 伊藤勝昭 (事務局長 緒川小学校長)

## ……九州個性化教育研究会……

- 理 事 ○前崎敏雄 (会 長 第一経済大教授)  
" ○荒木 隆 (副会長 福岡 )  
" ○宮里朝景 ( " 沖縄・具志川市教育長)  
" 加藤幸次 (顧 問 東京・上智大教授)  
" ○三原英雄 ( " 福岡 )  
" 村田喜一郎 (福岡・ )  
" 野口良治 (佐賀・山内西小学校)  
" 石黒直洋 (鹿児島・栗野小学校長)  
" 松尾法夫 (福岡・ )  
" 田中 普 (福岡・福吉中学校)  
" 柏木順子 (福岡・田川市立中央中教頭)  
" 竹浦ミトカ (福岡・ )  
" 木下啓作 (福岡・小野市立立石小校長)  
" 池田信一 (福岡・志免南小学校)  
" 白水 明 (福岡・舞の里小教頭)

## ……関西個性化教育研究会……

- 理 事 ○中井良興 (会 長 但東町中央公民館長) ○  
" ○鈴木正幸 (副会長 神戸大学教授)  
" ○長道園順 ( " 瀬橋小学校長)  
" 坂本邦夫 (顧 問 神戸市教育委員長)  
" 須田 勇 ( " 神戸大学名誉教授)  
" 石川克彦 (兵庫・生野小学校長)  
" 石田 光 (大阪幼少年教育研究所長)  
" 今谷順重 (兵庫・神戸大学教授)  
" 相良敦子 (京都・滋賀大学教授)  
" 佐藤秀和 (兵庫・弘道小校長)  
" 末方鐵郎 (兵庫・元小学校長)  
" D. Willis (兵庫・相愛大学教授)  
" 戸江茂博 (兵庫・頌栄短大助教授)  
" 中井良宏 (三重・県教委教育委員長)  
" 堀真一郎 (和歌山・きのくに子ども  
の村学園長・校長)  
" 山下智子 (兵庫・但東町立合橋小校長)  
" 山本欽三 (兵庫・神戸市樫野台小校長)  
" 川見正明 (兵庫・但東教事務所指導員)  
" 谷口育史 (事務局長 神戸市樫野台小)

※誤りがありましたら事務局までお知らせください。

平成9年度 全国個性化教育研究連盟  
会計報告 1998.3.31

○収入の部

種別	予算	決算	備考
個人会費	1280000	1328000	332名分
団体会費	300000	273000	39団体
東海個研	80000	140000	35名分
会誌売上	150000	227150	
繰越金	119415	119415	昨年残高
預金利子	500	564	
その他	200000	300617	研参加費
合計	2129915	2388746	

○支出の部

款	項目	予算	決算	備考
事業費	研究研修	50000	89000	謝礼
	広報活動	800000	800576	印刷
	研究発表	70000	70000	研修
	支部活動	110000	160000	補助
	会議費	110000	110000	会場
	海外交流	50000	42010	郵送
事務費	事務費	85000	53366	文具
	連絡通信	800000	828019	郵送
	消耗品費	50000	63880	紙
	諸費	4915	4552	電報
合計	2129915	2212403		

○差引残高 ----- 167343円

・上記の通り決算報告いたします。

平成10年3月31日

会長 染田屋謙相

事務局長 高浦 勝義

会計部長 五十子晴美

平成10年度 全国個性化教育研究連盟  
会計予算案 1998.3.31

○収入の部

種別	予算	決算	備考
個人会費	1400000		4000円
団体会費	280000		7000円
東海個研	140000		

会誌売上	200000		
繰越金	167343		
預金利子	500		
その他	250000		
合計	2437843		

○支出の部

款	項目	予算	決算	備考
事業費	研究研修	100000		謝礼
	広報活動	810000		会誌
	研究発表	80000		研修
	支部活動	200000		補助
	会議費	150000		会場
	海外交流	50000		郵送
事務費	事務費	70000		文具
	連絡通信	900000		郵送
	消耗品費	70000		紙
	諸費	7843		電報
合計	2437843			

平成10年度 活動計画

会誌「個性を育てる」第12号の発行

会誌第6号で「個性化教育ガイドブック」で全国の特徴ある114校を紹介しましたが、6年を経過し資料が古くなってきました。そこで今回「ガイドブックⅡ」の発行を計画し、全国各地の学校に原稿を依頼し、ただいま回収中です。今回も100校以上の掲載をめざしています。ご協力をお願いします。6月発送の予定です。

第14回夏季研修会

7月28日(火)～29日(水)

於 上智大学

生きる力の育成と総合学習をメインテーマに今年も昨年度に引き続き、上智大学で開催します。総合学習のあり方や評価の方法等も含めて研修を深めたいと考えました。今回は開催地が東京ですので、特に宿泊場所の斡旋は致しません。各自でご予約下さい。地方の先生方の参加をお待ちしています。

**会報の発行**

本年度は、この46号から、8月の47号（夏季研修会特集）、11月の48号（学期研究会特集）、2月の49号（各校の発表会特集）を計画しています。情報満載かつタイムリーな紙面にご期待ください。

**学期研究会**

5月23日（土） 於 上智大学  
「総合学習の考え方・進め方 PartⅣ」として、実践事例研究3本、学芸大の平野朝久先生の講演等を予定しています。ふるってご参加下さい。  
このほか10月にも学期研究会を計画しています。今一番知りたい内容を分かりやすく使いやすくをモットーに開催する予定です。発送の折の案内をご覧ください。

**海外研修**

今年は、ヨーロッパ（ドイツ、フランス）方面を計画しています。8月の中旬以降になるとと思いますが、発送の折の案内をご覧ください。

**総合学習の本の発行**

子どもが問題解決をしていく、子ども中心、個性重視の生きる力を育てる総合学習をモットーに副読本の発行を計画しています。図等を中心にし、教師が手軽に使える副読本を考えています。11月の発行をめざして現在編集会議を重ねています。

**〈事務局への問い合わせ・連絡先〉**

〒115-0044  
東京都北区赤羽南1-16-2-504  
03-3903-4780 庶務部長 佐久間茂和

今年度も、東京近郊の事務局員を中心に月1度上智大学に集まり、発送事務の他、プロジェクトを組織し学習会を行っています。

全国個性化教育研究連盟会報 第46号  
平成10年5月9日発行  
編集責任者 事務局長 高浦勝義  
編集 広報部 館岡茂樹

**〈事務局組織分担〉**（○印は部長）

- 庶○佐久間茂和（東京）
  - 務部 成田 幸夫（愛知） 東海個研
  - 池田 信一（福岡） 九州個研
  - 谷口 育史（兵庫） 関西個研
  - 加藤 幸次（東京） 全国連絡
  - 等々力美津子（東京）
  - 高瀬 雄二（東京）
  - 会○五十子晴美（東京）
  - 計部 橋本 享子（東京）
  - 原崎 佑子（東京）
  - 中澤 米子（東京）
  - 編○三浦 信宏（千葉）
  - 集部 安達 幸（千葉）
  - 松田 早苗（千葉）
  - 加藤久美子（千葉）
  - 広○館岡 茂樹（神奈川）
  - 報部 太田 始（東京）
  - 加藤 勇（埼玉）
  - 吉澤千鶴子（東京）
  - 小久保晶良（埼玉）
  - 申田 泰志（埼玉）
  - 研○河合 剛英（神奈川）
  - 修部 並木 康成（神奈川）
  - 池田伊三郎（神奈川）
  - 小林 和子（東京）
  - 多田 信夫（埼玉）
  - 松浦 盛人（埼玉）
  - 浅沼 茂（東京）
  - 奈須 正裕（東京）
  - 山口 慎吾（埼玉）
  - 川島 良代（東京）
  - 内藤 和久（山梨）
  - 藤巻 稔（山梨）
  - 堀竹 蝶子（東京）
  - 馬瀬 和子（神奈川）
  - 中澤 米子（東京） 海外担当
  - 中○松本 光弘（千葉）
  - 学 和井田清司（千葉）
  - 高 植田 由紀（千葉）
  - 校 秦 文男（千葉）
  - 部 嶺岸 秀一（千葉）
- プロジェクト組織（責任者のみ）
- カリキュラム 高浦 勝義
  - 学習材（整理と活用）川島 良代
  - 子どもの変容 加藤 幸次
  - 中・高教育 浅沼 茂

会長 副会長 事務局長  
染田屋謙相 加藤幸次 高浦勝義 永地正直

（手書きの注釈）  
吉澤千鶴子（東京）